

平成30年度

第1回江別市緑化推進審議会

日時 平成30年8月7日（火）

午後2時～

場所 江別市民会館31号室

次 第

※委嘱状の交付

※市長あいさつ

1 開 会

2 委員・職員自己紹介

3 正副会長の互選および会長職務代理者の選任

・委員名簿（第12期）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ページ

4 正副会長あいさつ

5 議 事

（1）報告事項

報告第1号 緑化関連事業の実施状況について

報告第2号 江別市保存樹林の指定解除について

報告第3号 江別市緑の基本計画の中間見直しについて

6 その他

7 閉 会

「身につけよう 命のお守り 反射材」

～交通安全年間スローガン（全日本交通安全協会）より～

平成30年度 第1回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

平成30年8月7日（火）
午後2時00分～3時06分
江別市民会館31号室

発言者等	内 容
審議会 出席委員	小阪委員、宿利委員、平島委員、藤田委員、宮木委員、吉田委員、保坂委員、 八木橋委員（計8名）
事務局	高橋生活環境部長、湯藤生活環境部次長、白崎環境室長、山崎環境課長、河 村環境課主幹、田中環境課主査、八木橋環境課主任、杉本緑化専門員 （計8名）
司会	山崎環境課長
三好市長より各委員に委嘱状交付	
市長挨拶	江別市長 三好 昇
審議会 開催宣言	山崎環境課長
委員 自己紹介	各委員
職員 自己紹介	各職員
正副会長互選、職務代理者の指名	
山崎課長	互選の方法について皆さんにお諮りしたい。
吉田委員	事務局に一任したい。
山崎課長	事務局一任との意見を頂戴したので、事務局案を提示してよろしいか。
	（各委員 了承）
山崎課長	事務局案として小阪委員、宮木委員をそれぞれ会長、副会長に推薦
	（各委員 事務局案に賛成）
就任挨拶	小阪会長、宮木副会長
会長職務 代理者の指名	小阪会長より宿利委員を指名、宿利委員承諾
山崎課長	配付資料の確認
傍聴者入室	傍聴について傍聴者に説明

平成30年度 第1回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

議事（報告案件）進行 小阪会長	
報告事項① 緑化関連事業の実施状況について	
河村主幹	緑化関連事業の実施状況について説明
宿利委員	名木百選ウォッチングの参加者は、公募して案内先を巡るのですか。
田中主査	参加者については、広報誌で募集して参加希望があった市民に参加してもらおう。市内に保存樹木等として113本指定している名木があり、この中で10本前後を選定し、樹木に詳しい先生を連れて各名木を見学して廻るバスツアーとして実施している。
吉田委員	花のある街並みづくり運動では、数年前に花コンテストが廃止され、平成29年度はこの事業に参加した団体が100団体となっているが、参加団体数の増減の状況はどうなっているか。
田中主査	参加状況については、自治会が減少する一方で高齢者クラブが増加するといった事情があり、その年によって若干の増減があるが、概ね横ばいの状況になっている。
吉田委員	我々の自治会は国道に面していて、歩道に花壇が整備されている、事業に参加できなくなった、花壇に花が植えられていない状況が続くようだと困っているが、今のところそのような心配は必要ないということでもいいか。
田中主査	公共工事などの関係で植栽枘がなくなり、一時的に植栽できない団体が発生することはあるが、毎年継続してご参加いただいている団体があり、参加団体数としては大きく減ることはないと思う。
宮木委員	昨年度の緑化イベントで、植樹事業が5月と9月に行われて、それぞれ100名ということで結構な人数が参加しているが、どういう人が参加しているのか。
田中主査	5月に実施した市民植樹と9月に実施した石狩川流域300万本植樹の参加者についてのご質問だが、市民植樹は関係団体の中でご参加いただく方、市民公募で参加していただく方など様々な方にご参加いただいている。石狩川流域300万本植樹は、実行委員会形式で行われているイベントで、江別河川事務所等と共催で実施している。参加者は河川防災関係の各団体、石狩川流域の市町村、市民は青少年育成会に打診して参加希望者の取りまとめを依頼している。企業としては木材、石狩川とゆかりの深い王子エフテックスさんが企業として参加いただいている。
小阪会長	報告第1号についてほかに発言等はあるか。
委員一同	特になし。
報告事項② 江別市保存樹木の指定解除について	

平成30年度 第1回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

河村主幹	江別市保存樹木の指定解除について説明
小阪会長	保存樹木の概要について説明願いたい。
田中主査	<p>本日配付した、えべつ環境ハンドブックの10ページに保存樹林、保存樹木の記載がある。保存樹木については、市内の樹木の中でも樹容に優れた歴史的な経緯を有する樹木であり、市長が将来に渡って保全していくべきものと考えた樹木について、保存の指定をしている。昭和46年にナナカマドが江別市の木として制定され、保存樹木を指定していこうということで条例が制定され、候補を選定したうえで保存樹木を指定し、現在113本ある。保存樹木にする前段階として指定樹木に指定され、その後10年以上経過してなお、状態が良好なものについて保存樹木に格上げしている。現在保存樹木は96本、指定樹木は17本で合わせて113本の名木が市として保全する樹木として指定されている状況となっている。</p> <p>保存樹林については、単木ではなく、林として全体が健全でかつ集団としての樹容がすぐれているもの、江別市として緑豊かな環境の確保及び美観風致を維持するために市長が指定するもの、ということで条例で定めている。樹林の規模としては2,000平方メートル以上のもので、全体として樹容がすぐれているものが指定され、現在2カ所指定されている。</p>
小阪会長	会議資料9ページの写真の説明をして下さい。
田中主査	<p>上江別村上樹林の位置、現況の写真に掲載させていただいている。昨年度に保存樹木の指定を解除した上江別村上樹林の位置は高砂駅から南側に位置する樹林で、現況写真は伐採されている様子が分かると思う。昨年8月に所有者が伐採し、これからまた植栽して庭園化を進めていくと伺っているが、現状ではまだ伐採、抜根して表土がむき出しの状況になっている。</p>
宮木委員	<p>保存樹木の指定を解除する面積が68,313平方メートルということだが、緑の保全やエコロジカルネットワークの形成を含めた市の緑地配置計画における扱いはどうなるのか。</p>
田中主査	<p>緑の基本計画でのエコロジカルネットワークの形成につきましては、46ページをご覧いただければお分かりのとおり、上江別村上樹林が欠けるとネットワーク形成に支障をきたす位置にはない。保存樹林ということで市として緑豊かな環境の確保及び美観風致を維持するために重要な樹林とすることで指定しており、所有者の意向としては今後植林して庭園化を進めるという意向が示されている。建築物を建築する予定はないとも伺っている。緑地としては今なお存在しており、今後も植林が進められていくものと思われるため、緑の保全、エコロジカルネットワークの形成上、特段問題にならないと考える。</p>
小阪会長	<p>所有者の意向は、今後市民が憩える庭園にしたいということだが、市の公園として整備していくのか、それとも私的に公園化していくつもりなのか。</p>

平成30年度 第1回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

田中主査	所有者からは、私的な庭園として整備していく意向が示されている。また、自分が満足する庭園に仕上がった場合は、市民にも公開することを考えたいということも伺っている。
小阪会長	報告第2号についてほかに発言等はあるか。
委員一同	特になし。
報告事項③ 江別市緑の基本計画の中間見直しについて	
河村主幹	江別市緑の基本計画の中間見直しについて説明
小阪会長	中間見直しにあたっては、社会経済情勢の動きを踏まえて検討するとのことだが、具体的にどのような視点で検討するのか。
河村主幹	市の第6次総合計画の中間点検の方針として、「関係法令・国や道の政策や関係計画との整合」、「各個別計画との調整」、「人口ビジョンの推計及び各種統計データに対する対応」といったことが社会情勢への変化への対応として示されていることから、こうした上位計画の中間点検方針に従って緑の基本計画においても見直しが必要な項目を点検していく方針でいる。
宮木委員	中間見直しにあたり、何か課題として出ているものはあるか。
河村主幹	審議会資料の12ページに記載のとおり、関係法令の法改正があったことを受け、都市公園の管理方針や都市農地の保全に関することといった計画への新たな記載事項について、関係する部署と協議が必要になる。また、関連する計画においては北海道の計画が見直し作業中であること、都市計画マスタープランが平成34年度から見直し作業に入るといった状況にある。緑の基本計画で定めた目標及び各施策の進捗状況は現在確認中であるが、現行計画の策定にあたっては、市民会議における提言や審議会での審議を経て10年間の計画として策定したものであることから、今回は目標等はず、計画に定めた目標に向かい各施策を推進していく考えである。
小阪会長	市民が緑豊かで素晴らしいまちと感じるようなまちづくりを進めるため、各種の施策が進められているところだが、今回の計画の見直しについて、市民が住んでいて良かったという満足度を検討する項目はあるか。
山崎課長	本日お配りした環境管理計画の39ページで、緑に親しめる空間があると思う市民割合という項目があり、計画期間の最終年次の平成35年度の目標として、向上を目標としている。これに対する各種施策の道筋、考え方を書き込めるかということになる。また、緑の基本計画は都市計画マスタープランとの整合のもとに策定されており、中間見直しについては、先ほど主幹からも説明があったとおり、次期計画に向けて都市計画マスタープランとどのように整合をとり、いかに考えていくかということも検討課題になろうかと考える。
小阪会長	報告第3号についてほかに発言等はあるか。

平成30年度 第1回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

委員一同	特になし。
その他	
河村主幹	今後の緑化関連事業（名木百選ウォッチング、石狩川流域300万本植樹）について案内。
閉会挨拶	高橋生活環境部長
閉会	山崎課長